

平成21年度

**fisc** 財団法人 ふくい産業支援センター  
Fukui Industrial Support Center

# 活用事例集



# はじめに

本県においては、雇用は相変わらず厳しいものの、製造業の輸出や受注に改善の動きがみられ、所得は幾分改善したことで個人消費もやや持ち直しの動きがみられます。しかし、円高の影響や米国経済の停滞などにより、景気の先行きには不透明感が強まりつつあります。

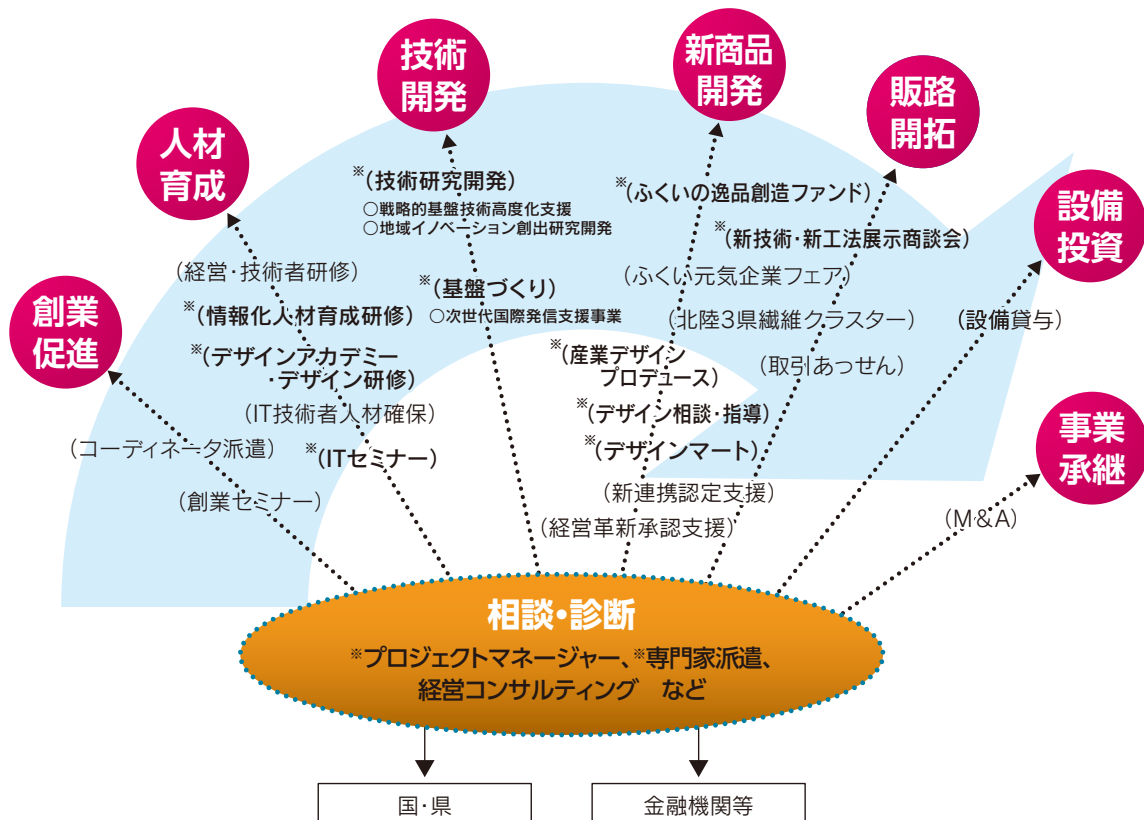
こうした中、当産業支援センターでは、県内の中小企業の方々が抱える様々な経営課題にお応えする総合相談窓口を開設し、中小企業診断士ほか各分野の専門家が産業支援センターの職員と連携して県内の中小企業の方々と一緒に経営課題の解決に取り組んでいます。

また、不況にも負けない経営基盤づくり、経営革新や新商品開発、販路開拓などにチャレンジする意欲的な県内企業の取り組みを積極的に後押ししています。

ここでは当産業支援センターがこれまでに支援した企業の中から平成21年度に成果のあった15の事例を取り上げ掲載するとともに、その事業の概要について簡単に紹介いたします。

fisc 財団法人 ふくい産業支援センター

## 主な支援事業の全体像



※今回、事例として掲載している支援事業

# 目次

## CONTENTS

### 活用事業名

<b>事例①</b>	<b>株式会社エヌエム</b> 自動車サービス部門の販路開拓	経営相談サポート事業(プロジェクトマネージャー)	02
<b>事例②</b>	<b>埴エンジニアリング株式会社</b> 取引先工場の海外移転に伴う販路開拓	経営相談サポート事業(プロジェクトマネージャー)	03
<b>事例③</b>	<b>株式会社織工房 風美舎</b> 最終商品の開発から販路開拓をめざして	経営相談サポート事業(プロジェクトマネージャー) ふくいの逸品創造ファンド事業	04
<b>事例④</b>	<b>有限会社福喜</b> 強み・弱みの洗い出しから課題解決までをきめ細かく支援	経営コンサルティング事業	05
<b>事例⑤</b>	<b>エコミックス</b> (代表企業:株式会社ウエマツ) エコミックス商品開拓共同事業	ふくいの逸品創造ファンド事業	07
<b>事例⑥</b>	<b>有限会社ホテルアーバンポート</b> 大衆向け若狭ブランド食品の開発・販売とさば街道21の創造	ふくいの逸品創造ファンド事業	08
<b>事例⑦</b>	<b>株式会社とば屋酢店</b> 糖質制限ドレッシング、調味料の開発と販路開拓	ふくいの逸品創造ファンド事業	09
<b>事例⑧</b>	<b>株式会社小林大伸堂</b> 情報化人材育成事業の活用によるネット販売の成功	セミナー等開催事業 情報化人材育成事業	11

活用事業名

事例⑨

株式会社真空ラボ

映像制作分野への進出支援

セミナー等開催事業  
情報化人材育成事業

12

事例⑩

株式会社ミツヤ

新世代先端複合材料成型品のための  
薄層多軸プリプレグシートとその成形法の開発

戦略的基盤技術高度化支援事業

15

事例⑪

株式会社ユティック

ポータブル位置検出システム用RFIDテキスタイルの開発

地域イノベーション創出研究開発事業

16

事例⑫

山田技研株式会社

車載式塩分濃度計測システムの国際的PRと販路開拓支援

次世代国際発信支援事業

17

事例⑬

SFV生産農場

里芋アイスのパッケージデザインとブランディング支援

専門家派遣(デザイナー)事業  
デザインアカデミー事業  
デザインマート事業

20

事例⑭

有限会社紙和匠

「舞妓カード」のパッケージデザイン計画

専門家派遣(デザイナー)事業  
産業デザインプロデュース事業  
デザイン研修事業

21

事例⑮

山嘉商店株式会社

酒器「Tri Tura」のブラッシュアップと販路開拓支援

デザイン指導相談  
産業デザインプロデュース事業  
デザインマート事業

22

## 経営相談サポート事業(プロジェクトマネージャー)

豊富な経験や幅広い人的ネットワークを有する企業OBや専門家をプロジェクトマネージャーとして委嘱し、職員とともに産業支援センターの様々な事業を効果的に組み合わせることで支援を行います。

### プロジェクトマネージャー紹介

中井 俊明	元 住友商事(株)	米国住友商事 課長 リビング部 部長 大阪衣料第一部 部長
	元 スミショウテキスタイル(株)	取締役
保坂 武文	元 本田技術研究所(株)	取締役 商品開発室長 常務取締役 エンジン開発総責任者 F-1レース開発 総責任者・総監督
	元 東洋電装(株)	代表取締役 副社長

### 平成21年度 実績

企業訪問回数 延べ587回

お問い合わせ 新事業支援部 総合相談・創業支援グループ TEL: 0776-67-7400

## 経営コンサルティング事業

企業の現状分析・課題の抽出・改善策の提案を行う企業診断を実施するとともに、継続的なフォローを希望する企業については、課題克服に向けたコンサルティングを行います。

### 企業の負担金

診断内容により異なりますので、ご相談ください。

### 平成21年度 実績

実施件数 14件 (診断 2件、コンサルティング 12件)

お問い合わせ 新事業支援部 経営革新・コンサルグループ TEL: 0776-67-7424

## 経営相談サポート事業(プロジェクトマネージャー)事例

事例①

### 株式会社エヌエム

自動車サービス部門の販路開拓

事例②

### 埴エンジニアリング株式会社

取引先工場の海外移転に伴う販路開拓

事例③

### 株式会社織工房 風美舎

最終商品の開発から販路開拓をめざして

## 経営コンサルティング事業事例

事例④

### 有限会社福喜

強み・弱みの洗い出しから課題解決までをきめ細かく支援

# 自動車サービス部の 販路開拓

## 株式会社 エヌエム

代表者名 松井 正己

所在地 福井市

業種 一般機器販売業

事業内容 高圧洗浄コーティング機開発・販売

### 経営課題(事業を活用した経緯等)

当社は、手間のかかる車の洗浄やワックスによるコーティング作業を、手軽にできる専用機の開発に取り組んでいた。当社のコーティングは、セラミックを通した水を高圧洗浄機で車の塗装面に吹き付けてガラス皮膜をつくるもので、塗膜保護、汚れにくい、汚れが落ちやすい、耐久性に優れるという特性がある。

国の事業の認定を受け、福井大学によるコーティングのメカニズムの立証や(株)デンソー中部との連携による販路開拓に取り組んだ。その結果、トヨタ系列のU-car(中古車)仕上げ向けのサービスとして採用されたが、さらに大きな市場が見込める新車向けの純正サービスとしての販路開拓に取り組んでいた。



### 支援内容

販売部門での連携先である(株)デンソー中部と当社は、(株)トヨタ自動車の新車向け純正サービスとしての販路開拓を行った。

産業支援センターのプロジェクトマネージャーは、自動車業界にネットワークを有しており、継続的に(株)トヨタ自動車の担当窓口の紹介やプレゼンテーション方法のアドバイスをを行った。

これまでの助言内容は次のとおりである。

①新連携事業の応募に関する事業計画作成支援 ②研究部門の福井大学との共同研究コーディネート ③(株)トヨタ自動車、(株)デンソーでの展示会への出展支援、中小企業基盤整備機構の販路マッチングナビゲート事業への推薦、(株)伊藤忠商事への紹介

### 支援成果・現状

(株)デンソー中部との営業活動の結果、純正の新車向けサービスとしての採用にはならなかったが、トヨタレンタリース店向けに採用された。全国63法人あり、そのうち30拠点に導入が決まった。

また、これまでの連携事業により、このサービスに関する特性等の蓄積された豊富なデータがあり、アウディージャパン販売(株)の国内14拠点での採用も決定した。

#### 代表者の方からの一言



代表取締役社長 松井 正己 氏

これまで、新車、中古車用コーティングの採用に向けて営業活動を実施してきましたが、今後は同じ輸送用機器であるバスや電車のコーティングをはじめ、原子力発電所、公共施設などの建築物への施工にも積極的な営業に取り組んでいきたいと思っています。

また、県内企業との連携による新たな用途開発にも積極的に取り組んでいきたいと思っています。

# 取引先工場の 海外移転に伴う販路開拓

## 埴エンジニアリング 株式会社

代表者名 埴 将

所在地 鯖江市

業 種 一般機械製造業

事業内容 モーター製造に関する専用機、省力機械の製造

### 経営課題(事業を活用した経緯等)

当社の25年来の取引先で、取引高が年間2億円あった武生松下電器(株)が平成15年12月に海外生産に移行したため、取引が激減した。以後売上の確保のため、従来の専用機や省力機械のノウハウをコア技術として営業活動が続けるものの、減少した売上額を確保できるような状態ではなかった。

### 支援内容

これまでの技術を活用して新たな分野への販路開拓を行いたいという当社の依頼を受け、産業支援センターの自動車業界に精通したプロジェクトマネージャーは、名古屋周辺の自動車電装部品の製造会社の取締役や担当者を紹介した。

その後、技術プレゼンテーションなどの営業にも同行するなど、県内外での取引成立に向けたサポートを実施した。



### 支援成果・現状

その結果、取引が成立し、現在では、自動車関連分野の受注が当社の年間売上の30%を占め、従来の減少した売上を大きく上回る大事な柱の1つとなっている。また、ユーザーの要望に機動的に対応すべく、名古屋市に営業拠点や協力工場も設けている。リーマンショック後は、取引先において外注企業の見直しもあったが、これまでの技術や対応が高く評価され、その後も取引が継続している。さらに、現在の取引先の紹介で、複数の関連会社からの発注量も増加する傾向となっている。

### 代表者の方からの一言



代表取締役 埴 将 氏

これからの産業のキーワードは、CO<sub>2</sub>排出削減のための環境やエコですから、当社のコア技術が関連するモーターの需要も様々な分野でますます高まることが予想されます。今後も積極的に複合素材やモーターなど、現在注目を浴びている次世代自動車産業の電気自動車等にも関わっていきたいと思っています。



# 最終商品の開発から 販路開拓をめざして

## 株式会社 織工房 風美舎

代表者名 澤田 勝

所在地 福井市

業種 繊維製造業

事業内容 「紗、絹、羽二重」生地の販売から最終商品の開発

### 経営課題(事業を活用した経緯等)

現在、当社は法衣向けの織物の自社販売に取り組んでいる。当社では、生地売りのみならず付加価値の高い最終商品の販売を目指し、自社で製造したカラミ織物を使用して袋物をはじめとする和装小物類の開発から販売も行っている。

さらに、新たな商品群の開発と販路開拓を行い、財務体質の安定を図りたいと思っていた。

### 支援内容

しかし、販路開拓の面では、これまでの問屋などの取引先とは異なり、どこでどのように販売したらよいか手探りの状態で営業活動を行っていた。

産業支援センターのプロジェクトマネージャーの紹介で中小企業基盤整備機構へ訪問し、各分野の専門家から和装小物類の商品に対する評価や開発のアドバイスを受けると同時に販路開拓の相談も行なった。

こうした、第三者の評価の中から新たな商品開発のヒントを見出すことができた。



### 支援成果・現状

プロジェクトマネージャーと福井県工業技術センターのアドバイスを受けながら、当社の「モアレマジック」の技法を生かしたインテリア照明の開発をふくいの逸品創造ファンド事業の採択を受け商品化を行った。

「モアレマジック」インテリア照明器具は、「インテリアライフスタイルショー」、「ふくい元気企業フェア」等の展示会で大きな注目を浴びた。

今後は、「2011 HOTERES JAPAN」に出展し、全国のホテル・旅館・レストラン等の購買担当者から商品に関する評価をいただくとともに、積極的に営業を行っていきたいと思っている。

### 代表者の方からの一言



代表取締役 澤田 勝 氏

福井県、産業支援センター、工業技術センター、プロジェクトマネージャーからは多くの支援やアドバイスを受けいつも感謝しています。今回開発した商品について、安定的な販路の確立に向けて努力していきたいと思いを新たにしています。現在、後継者も従事しており、今後も繊維産業が将来に向けて夢のある事業として取り組めるよう、社内体制の構築にも努めているところです。

# 強み・弱みの洗い出しから 課題解決までをきめ細かく支援

## 有限会社 福喜

代表者名 福島 弘有喜

所在地 小浜市

業種 観光旅館業

事業内容 若狭・小浜食の宿「福喜」の経営

## 経営課題(事業を活用した経緯等)

当社は、小浜市内にて観光旅館の「福喜」を経営している。近年、旅行形態が団体観光から家族・小グループ観光に移っており、また名所・旧跡の見学から体験・感動を目的とした旅行へと、観光ニーズの変化も生じている。

そこで、経営体質やサービス等を時代に即した内容に改め、「家業から企業へ」経営の質的向上を図り、ひいては地元観光の発展にさらに役立ちたいと思っていた。



## 支援内容

産業支援センターの職員が定期的に当社を訪問し、旅館の基本コンセプトの見直しや明確化、施設など経営資源の磨き直し、3S(整理・整頓・清掃)の徹底やホームページのリニューアルなどの実施について助言等を行った。



## 支援成果・現状

産業支援センター職員と経営者とがミーティングを繰り返しながら、初めてなのに誰もが懐かしさを感じる宿という基本コンセプトの方向性を定めた。浴室や客室等の改装、ホームページのリニューアル、3Sの実施も終えて維持・活用を続けている。

今後、顧客データや経営情報を分析・活用すること等によって、福喜ならではの「おもてなし」の確立、質の向上などを実行する段階に入った。

## 代表者の方からの一言



代表取締役 福島 弘有喜氏

産業支援センターにお世話になり3年目に入ります。両親を亡くし途方に暮れている時に産業支援センターをご紹介いただき、プロジェクトマネージャーや特にお二人の職員の方には、初歩的な基本からご指導していただき、清掃から、当館の強み弱みを再確認させてくれ、当館の目指すところを後押ししていただいております。時には厳しく、時には笑いもあり、すべてを素直に受け入れております。

## ふくいの逸品創造ファンド事業

地域資源を活用した創意工夫ある取り組みを幅広く支援するため、ふくいの逸品創造ファンドの運用益で、県外市場での顧客獲得を目指す県内企業の商品開発や販路開拓への取り組みと、繊維関係企業同士や眼鏡産地の企業が小売店等と連携して行う商品開発や販売力強化のモデル的な取り組みに対して、助成します。

### ① “ふくいの強み活かす”チャレンジ企業支援

地域資源を新たな発想で活用し、“これぞ福井”と納得できる逸品の事業化を支援するため、県外市場での顧客獲得を目指す新商品・サービスの開発や販路開拓の取り組みに対して助成します。

助成率 1/2 助成限度額 500万円/件（販路開拓のみの限度額200万円）

### ② 企業連携による繊維産地競争力強化モデル創出

産地内の他業態の企業が連携して商品開発や販売力強化を図るモデル的な取り組みや、同業態の企業が連携して共同販売を行うモデル的な取り組みに対して助成します。

助成率 2/3 助成限度額 600万円/件

### ③ 小売店との連携による福井ブランドめがね販売モデル創出

産地企業が全国の眼鏡小売店等と連携し、福井ブランドを前面に打ち出した製品の企画・生産からPR・販売までを共同で行うモデル的な取り組みに対して助成します。

助成率 2/3 助成限度額 600万円/件

### ④ 農商工連携支援による新事業創出支援

福井の農林水産物の魅力や特性を引き出した商品の企画・生産からPR・販売までを農林水産業者と中小企業者とが連携して行うモデル的な取り組みに対して助成します。

助成率 2/3 助成限度額 600万円/件

平成21年度 実績

助成対象事業数 42件

お問い合わせ 新事業支援部 TEL：0776-67-7406

## ふくいの逸品創造ファンド事業事例

事例③

### 株式会社織工房 風美舎

最終商品の開発から販路開拓をめざして

事例⑤

### エコミックス（代表企業：株式会社ウエマツ）

エコミックス商品開拓共同事業

事例⑥

### 有限会社ホテルアーバンポート

大衆向け若狭ブランド食品の開発・販売とさば街道21の創造

事例⑦

### 株式会社とば屋酢店

糖質制限ドレッシング、調味料の開発と販路開拓

# エコミックス商品 開拓共同事業

## エコミックス

代表者名 (株)ウエマツ 上松 信行

所在地 福井市

業種 染色整理業

事業内容 繊維・織・編み物の染色・仕上加工および特殊仕上加工等

## 経営課題(事業を活用した経緯等)

繊維産業の海外シフト化や景気の低迷等により売上が減少していることに加え、化学染料による環境問題や人体への影響への関心が高まっていることから、天然染料での染色等の付加価値の高い新商品の開発が必要となっている。

そこで、中嶋機業場、(株)ベスト工房と連携し、ポリエステル等の生地をシルクプロテイン加工することで、従来困難とされてきた天然染料での染色を実現すると同時に、天然染料で染色したタオル等の最終商品を開発、販路開拓に取り組むことにした。



## 支援成果・現状

助成事業を実施したことで、天然染料と付帯加工技術との複合化による新しい風合いを備えた、環境や人体にも優しい生地を開発することができた。新しい生地を展示会等に出展したところ高い評価を得ることができ、これまでに約5,300万円の商談が成立している。

また、並行して福井県に関連する花などから採取した天然染料で染色したタオルの商品化も行き、各種イベント等に出展し販路開拓を行った結果、これまでにサービスエリアやお土産店など28件の販売先が決定し、約220万円の売上を上げている。

今後は商品の更なる開発、改良を行うと同時に、クッションやベビー用品など、商品アイテムを拡大し、拡販を目指していきたいと考えている。

## 支援内容

ふくい逸品創造ファンド事業への申請に向けた事業計画のブラッシュアップを支援したほか、助成金により商品開発から販路開拓までの取り組みを資金面で支援した。

また、事業採択後には、展示会「ふくい元気企業フェア」への出展支援および新聞、テレビ等のマスコミへの情報提供による商品PR、販路開拓の支援を行った。

## 代表者の方からの一言



代表取締役 上松 信行 氏

モノの売れない状況下において、ファンド事業を活用したことで、評価の高い新商品を開発することができ、商談に繋げることができました。今後も独自商品へのニーズは益々高まってきますので、引き続きオンリーワン商品の開発に取り組んでいきたいと思っております。ありがとうございました。

# 大衆向け若狭ブランド食品の開発・販売と さば街道21の創造

## 有限会社 ホテルアーバンポート

代表者名 山岸 博之

所在地 小浜市

業種 宿泊業

事業内容 宿泊、飲食、各種会合およびプライダル等

### 経営課題 (事業を活用した経緯等)

NHKの朝の連続テレビ小説『ちりとてちん』の放映や、オバマ大統領の応援等により、首都圏においても若狭、小浜市の知名度が高まっているが、『御食国』として古くから天皇家へも献上されてきた歴史があるにもかかわらず、若狭の食文化については未だ認知度が低く、物産販売や観光誘客の促進余地を十分残している。

そこで、若狭地方を中心とした食材を活用したカップ麺とレトルトカレーを開発し、観光客等に販売することで、より一層の若狭の観光振興と物産販売を促進することにした。



### 代表者の方からの一言



代表取締役 山岸 博之 氏

初の試みに挑戦する機会を与えて下さいました支援事業に感謝致しております。その成果は若狭小浜の食のまちづくり事業として情報発信や販路開拓が出来ました事、地域ブランドの若狭牛や若狭ぐじを使用することによって異業種交流が出来ました事、更には地元高校とのコラボによる新商品鯖カレーの開発が出来ました事等、多くの成果を上げることが出来ました。

### 支援内容

ふくい逸品創造ファンド事業への申請に向けた事業計画のブラッシュアップを支援したほか、助成金により商品開発から販路開拓までの取り組みを資金面で支援した。

また、事業採択後には、新聞、テレビ等のマスコミへの情報提供による商品PR、販路開拓の支援を行った。

### 支援成果・現状

助成事業を実施したことで、地元の甘鯛フレーク、鯛ひしお(魚醬)、天然塩等の入ったカップ麺「御食国拉麺」や若狭牛を使ったレトルトカレー「御食国カレー若狭牛」を開発することができた。首都圏の百貨店やイベント、高速道路のサービスエリア等で商品PRを行った結果、高い評価が得られ、これまでに「ふくい南青山291」や地元の土産店、道の駅など10件の販売先が決定し、多くの売上実績が得られているほか、パッケージに観光情報を掲載したことにより、地元のPRにも貢献することができている。

今後は、更なる販路拡大を図ることにより、より一層の若狭の知名度向上や観光誘致の促進につなげたいと考えている。

# 糖質制限ドレッシング、調味料の開発と販路開拓

## 株式会社 とば屋酢店

代表者名 中野 貴耀

所在地 小浜市

業種 食酢製造業

事業内容 米酢、ドレッシング、ポン酢等調味料および漬物の製造販売

### 経営課題(事業を活用した経緯等)

当社は、創業以来300年に渡り、「小鯛の笹漬け」など、昔から若狭地方の魚介類の加工に必要なお酢を製造してきたが、近年急増している糖尿病、メタボリックシンドロームなどをはじめとする生活習慣病への関心の高さから、健康訴求や新用途の視点を加えた新商品を開発し、潜在的にある新たな市場を開拓する必要性を感じていた。

そこで、長年培った酢の加工技術と、地元の食材等を活用し、新たに糖質制限調味料を開発し、販路開拓を行うことにした。



### 支援内容

ふくい逸品創造ファンド事業への申請に向けた事業計画のブラッシュアップを支援したほか、助成金により商品開発から販路開拓までの取り組みを資金面で支援した。

また、事業採択後には、新聞、テレビ等のマスコミへの情報提供による商品PR、販路開拓の支援を行った。

### 支援成果・現状

助成事業として、地元の塩や梅、トマトなどを使用しながら様々な糖質制限調味料の開発に取り組んだ結果、最終的に地元の天然塩やお酢等を使用した「塩ポン酢」を開発することができた。完成した塩ポン酢は、糖質制限の目安である炭水化物量の100g当り5g以下の条件をクリアしながらも、鍋物やサラダなど様々な用途で美味しく食することができ、高い評価を得ている。

現在、県内の土産店や高速道路のサービスエリア、道の駅など約20件の販売先で販売しているほか、自社のホームページにて通信販売も行っている。特に、全国放送のTV番組「満天☆青空レストラン」で紹介されたことで注文が殺到し、これまでの売上は全体で1,700万円となっている。

今後は、今回の糖質制限調味料の開発のノウハウを生かし、更なる商品開発、販路開拓につなげていきたいと考えている。

### ■ 代表者の方からの一言



専務取締役 中野 貴之 氏

ファンド事業を利用させていただき、事業計画の作成や期限を設けた中で商品開発を行うことに対する苦勞もありましたが、お陰さまでお客様に喜んでいただける商品を開発することができ、大変勉強にもなりました。ありがとうございました。

## セミナー等開催事業

県内企業やIT関連事業者等を対象に、IT技術、インターネット活用手法や実践的な活用事例、映像クリエイター向けの最新動向に関するセミナーなどを開催します。

### 平成21年度

販路拡大セミナー&交流会	4回	受講者数	297人
IT技術活用セミナー&交流会	4回	受講者数	421人
地元IT企業と中小企業とのビジネスマッチング	1回	受講者数	1,390人

## 情報化人材育成事業

実践的なIT活用やインターネット販売などの電子商取引に関する研修を産業情報センターおよび嶺南支所で実施します。

### 平成21年度

年間 48講座 82回 受講者数 1,027人

研修名	講座数	実施回数	受講者数
業務活用研修	10講座	25回	286人
ホームページ制作(初級)研修	4講座	13回	207人
ホームページ制作(中級)研修	8講座	9回	78人
eビジネス実践研修	14講座	22回	290人
映像制作研修	2講座	2回	13人
ネットワーク研修	6講座	6回	54人
IT業界向け研修	4講座	4回	99人
合計	48講座	82回	1,027人

※ 情報化人材育成カリキュラムは下記のHPをご確認ください。

<http://www.fisc.jp/pckouza/>

お問い合わせ 地域産業支援部 情報化・販路開拓支援グループ TEL:0776-67-7411

## 情報化人材育成事業事例

事例⑧

### 株式会社小林大伸堂

情報化人材育成事業の活用によるネット販売の成功

事例⑨

### 株式会社真空ラボ

映像制作分野への進出支援

# 情報化人材育成事業の活用による ネット販売の成功

## 株式会社 小林大伸堂

代表者名 小林 照明

所在地 鯖江市

業種 印章業

事業内容 事業内容:実店舗およびネットショップによる印鑑の製造・販売

## 経営課題(事業を活用した経緯等)

パソコンやインターネットの普及、文書の電子化等により印鑑やゴム印の需要が減少、さらにバブルの崩壊と安売りフランチャイズ店の登場などにより売り上げの減少に直面した。また、将来的にさらなる印鑑需要の落ち込みも予想されるなか、新たな販路を求め生き残りをかけた新たな取り組みを行う必要性を感じていた。

同社は新たな販路としてネット販売事業に乗り出すこととし、その過程で産業支援センターの事業を活用した。

## 支援内容

産業支援センターが開催した情報化人材育成事業(IT研修)やeビジネスセミナーに積極的に参加し、ネット販売に関するノウハウを習得してもらうとともに、産業支援センターの職員が個別にアドバイスを行った。



## 支援成果・現状

同社は、現在、印材やターゲットなどにあわせて、「開運印鑑」「宝石印鑑」「会社印鑑」等、複数のサイトを運営、一定の売り上げを獲得するに至っている。

また、平成21年には情報化優良企業表彰で優良企業賞\*を受賞するなど、全国的にも高い評価を得ている。

※(財)全国中小企業情報化促進センター主催「都道府県等中小企業支援センター情報化優良企業表彰」

## 代表者の方からの一言



代表取締役 小林 照明 氏

ネット販売当初から、産業支援センターの研修やセミナーを受講し、その内容を実践することで実績を積み上げることができました。

この業界は競争が激しく技術の進化も速いことから常に最新の知識やノウハウを習得し実践することが求められますので、従業員教育も含めこれからも産業支援センターの研修事業を活用していきたいと思っています。



# 映像制作分野への 進出支援

## 株式会社 真空ラボ

代表者名 長谷川 博

所在地 福井市

業種 広告制作業

事業内容 広告制作(新聞・雑誌・ラジオ・TVCM・Web・フリーペーパー等)

### 経営課題(事業を活用した経緯等)

当社は、各種デザイン物の制作を手掛ける制作会社として事業を実施していたが、厳しい不況の折、広告費についても削減傾向が強くなりつつあった。

このため、本業に関連する分野を軸に事業拡大を考えるうえで、映像制作分野に着目。新分野への進出を決意した。

### 支援内容

産業支援センターの映像セミナーをきっかけに、複数年にわたり映像制作講座を受講。映像制作には、福井県産業情報センタービルの貸出施設であるビデオ編集室を活用。使用の際には、機器の操作や制作に関するアドバイスなどを行った。

### 支援成果・現状

関連事業を通じ、ノウハウを取得しながら、地元の映像制作を中心に実績を伸ばし、近年では他県の映像制作なども手掛けるまでに成長している。

なお、編集システムの操作や指導については、講座終了後も継続して行っている。第29回福井広告賞(福井新聞社、FBC福井放送共催)にて同社が制作した「一本義久保商店」のCM<sup>\*</sup>が大賞を受賞。

上記受賞に合わせ、デザイン/制作大賞として、制作に携わった当社(および代理店である名響社)があわせて受賞した。

※本CMの制作の際、利用した施設は福井県産業情報センター内にあるビデオ編集室。また、編集機の操作は、実践講座の講師を複数年勤めていただいた酒井理隆氏が担当。(東京を中心に活躍するフリーランスの映像クリエイター)

### 代表者の方からの一言



代表取締役 長谷川 博 氏

映像セミナー・講座の受講をきっかけとして、CM制作の分野で実績を上げることができました。担当者の方には、事前の相談にも丁寧に対応していただき、編集機器の操作フォローなどにも非常に助けられました。

また、講座を通じて、東京の制作会社とのつながりもでき、仕事をする機会も増えるなど、予想以上のメリットがありました。

# 次世代技術の育成と 国際特許出願の促進

未来の県内産業を支える企業のモノづくりのための技術開発を支援します。

## 戦略的基盤技術高度化支援事業

(当事業は平成21年度で終了しています。)

中小ものづくり高度化法に基づく法認定を受けた新製品や新製造システム等の事業化計画に関する研究開発を実施しました。

**研究テーマ** 新世代先端複合材料成型品のための  
薄層多軸プリプレグシートとその成型法の開発

**研究期間** 平成18年度～平成21年度(3年間)

## 地域イノベーション創出研究開発事業

(当事業は平成21年度で終了しています。)

地域において新産業、新事業を創出し、地域経済の活性化を図るため、産学官の研究開発資源の最適な組み合わせからなる研究体を組織し、最先端の技術シーズを基に新製品開発を目指す実用化技術の研究開発を実施しました。

**研究テーマ** ポータブル位置検出システム用RFIDテキスタイルの開発

**研究期間** 平成20年度～平成21年度(2年間)

## 次世代国際発信支援事業

国際感覚を有する技術者育成と世界への本県技術の発信・PRのため、県内中小企業が国外における学会・展示会等へ50歳以下の技術者を派遣する際の経費を助成しました。

助成率 1/2 助成限度額 30万円/件

平成21年度 **実績**

助成企業数 2件

※ このほか、様々なプロジェクトの活動を支援しています。

詳しくは <http://www.fisc.jp/fstr/>

お問い合わせ | 技術開発部 TEL : 0776-55-1555

## 戦略的基盤技術高度化支援事業事例

事例⑩

### 株式会社ミツヤ

新世代先端複合材料成型品のための薄層多軸プリプレグシートとその成形法の開発

## 地域イノベーション創出研究開発事業事例

事例⑪

### 株式会社ユティック

ポータブル位置検出システム用RFIDテキスタイルの開発

## 次世代国際発信支援事業事例

事例⑫

### 山田技研株式会社

車載式塩分濃度計測システムの国際的PRと販路開拓支援

# 新世代先端複合材料成型品のための 薄層多軸プリプレグシートとその成形法の開発

## 株式会社 ミツヤ

代表者名 西山 和夫

所在地 福井市

業種 繊維加工業

事業内容 各種織物・編物の製織と染色仕上加工

### 経営課題(事業を活用した経緯等)

当社は、長繊維加工企業としての経験・ノウハウを基に、経営基本方針である「新商品・新分野の開発」として、衣料だけではなく広く産業資材用途への事業展開を進めている。特に、福井県特許「強化繊維束の開織技術」を利用した炭素繊維強化複合材料の開発を、中長期開発案件として位置付け、推進している。

このような中、近年の環境問題から、自動車等の輸送用車両における軽量化要求があり、当社としても炭素繊維強化複合材の採用への期待が大きいが、高品質かつ低コストの量産技術には課題が多かった。この課題を解決するために、産学官共同研究による本支援事業を活用した。



### 支援内容

産業支援センターが管理法人となり、当社、福井県工業技術センターを中心とした研究共同体を構築し、平成18～21年度にかけ中小企業基盤整備機構戦略的基盤技術高度化支援事業において、炭素繊維強化複合材料薄層積層板を自動車部材用の高張力鋼板の代替材料として量産するため、中間材料である薄層多軸プリプレグシートの製造技術の開発と、これに対応した高速短時間成形技術の開発について産学官共同研究を推進した。

### 支援成果・現状

母材樹脂に熱硬化樹脂、熱可塑樹脂を用いた両方の複合材に対応可能な新規の薄層多軸プリプレグシート製造装置を開発し、4軸の連続した薄層多軸プリプレグシートを得ることができた。

また、3次元成型を可能とする新規成形方式の多機能型プレス成形装置を導入して、高速短時間成形技術を開発することができた。

### 代表者の方からの一言



代表取締役 西山 和夫 氏

今回の支援により、高品質かつ低コストの炭素繊維複合材料の量産技術を開発することができました。この技術をさらに高度化し、自動車産業のみならず他分野へも展開し、早期に事業化できるよう図っていきます。

# ポータブル位置検出システム用 RFIDテキスタイルの開発

## 株式会社 ユティック

代表者名 田中 利憲

所在地 坂井市

業種 染色整理業

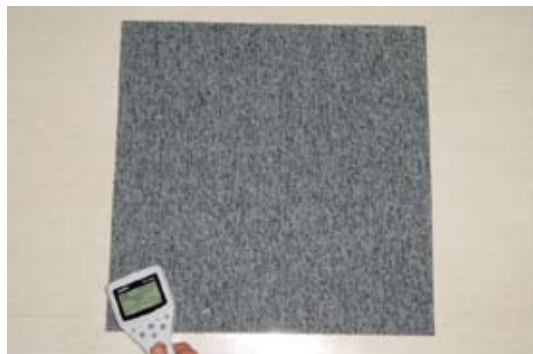
事業内容 化学繊維の染色・整理・カット・検査・梱包

## 経営課題(事業を活用した経緯等)

平成17年頃より、衣料分野だけでなく産業資材分野での製品開発を行ってきたが、その中でも、将来的性の高い技術分野としてエレクトロニクスとテキスタイルを融合した分野への技術開発を行うことにした。

## 支援内容

当産業支援センターが管理法人となり、当社、(株)メディカルジャパン、東京大学、福井県工業技術センターで研究共同体を構築し、平成20～21年度にかけ経済産業省地域イノベーション創出研究開発事業において、テキスタイルとRFIDを融合した新規の“e-テキスタイル”を開発し、低コストかつポータブルな位置検出システムの実現を目指し、事業化展開を図ることを目的とした産学官共同研究を推進した。



## 代表者の方からの一言



開発営業部部长 橋本 和幸 氏

RFIDテキスタイルはこれまでになかった材料として各方面より高い注目を浴びていますが、新しいために具体的な用途もこれからの状態です。まずは、製品化が早いユニフォームやネーム関係を目標に、テキスタイルの特性を活かした用途に展開していきたいと思っています。



## 支援成果・現状

福井県工業技術センター、東京大学、メディカルジャパンとの連携で、RFIDテキスタイルを開発でき、その製織および加工等の製造技術も確立できた。

現在は製品化に向けて販路開拓中である。また、RFIDタイルカーペット等のように、用途に対応して様々な加工をRFIDテキスタイルに施した状態で提供できるようにさらに開発も進めている。

# 車載式塩分濃度計測システムの国際的PRと販路開拓支援

## 山田技研 株式会社

代表者名 山田 忠幸

所在地 福井市

業種 電気機器製造

事業内容 雪氷・融雪・凍結防止に関するセンサ開発とコンサルタント業務

### 経営課題 (事業を活用した経緯等)

当社製品の国内市場はそれほど大きくないので、市場拡大のため海外での販路開拓に乗りだした。そこで、的確なマーケット情報が得られ、かつ当社をよく知ってもらうための情報発信ができる国際展示会への出品を考えた。

展示会での効果的なアプローチのためには、積極的なPRや具体的な商談ができる国際感覚のある人材を育成する必要がある。



### 支援内容

カナダ・ケベック市にて開催された国際冬季道路会議に出展する雪氷関連技術の展示費用と、技術者派遣費用の一部を産業支援センターが助成し、国際感覚を有する技術者育成と世界への本県技術の発信、PRを支援した。

### 支援成果・現状

本事業の活用により、世界中の道路技術者と政策担当者が集まる国際冬季道路会議ケベック大会に出展し、当社の社員を派遣した。

この展示会で、当社の車載式塩分濃度計測システムのPRを行い高い評価を得た。これにより、海外バイヤーと具体的な商談ができ、また、システムの技術課題や関連技術の技術動向など効果的に市場調査が行えた。

現在、海外への製品投入に向け、体制作りを行っているところである。

### 代表者の方からの一言



代表取締役社長 山田 忠幸 氏

今回、助成事業を活用することにより、海外へ当社の雪氷関連技術を紹介でき、海外販路展開の足がかりとすることができました。今後は計測技術のみならず、雪氷エネルギーの新たな活用技術から冬期間の快適な生活環境を世界に向け提案していきたいと考えています。

## デザイン指導相談事業

県内企業が抱えるデザインに関する課題に対して、デザイン専門職員が相談および指導を行います。

平成21年度 実績

指導相談件数 733件

## 専門家派遣事業

創業を目指す方や中小企業者等が抱えている技術開発、生産効率化、情報化対応、デザイン等の様々な経営課題を解決するため、専門的な知識や経験を有する専門家を相談者の事業所に派遣し、適切な指導・助言を行います。

企業の負担金

1回(4時間)あたり40,000円以内で1/2(20,000円以内)が自己負担となります。

平成21年度 実績

専門家登録人数 125人

派遣先企業数 46社 派遣回数 310回

(うちデザイナー派遣 14社 派遣回数 68回)

## 産業デザインプロデュース事業

商品企画、デザイン開発、販路開拓等、個々の企業の要請に応じ、専門デザイナーを派遣し、具体的な実務を伴う指導を行います。また、組合、団体、企業グループを対象に市場動向、商品企画、デザイン評価等共通する課題に対し、日本の第1線で活躍しているデザイナー等の指導による集合カウンセリングを行います。

企業の負担金(デザイナー派遣のみ)

1回(4時間)あたり40,000円以内で1/2(20,000円以内)が自己負担となります。

平成21年度 実績

県外デザイナーによるグループ等指導 18グループ 35回

デザイナー派遣による指導 14社 68回

## デザインアカデミー事業

ブランディング及び企画から販売までの商品開発プロセス全般におけるデザインマネジメント理論と参加企業のデザイン課題を解決する実践研修を行います。

企業の負担金 経営者・実務者コースは参加費用が必要となります。

平成21年度 実績

経営者コース(4日間) 1講座 受講者数 12人

実務者コース(12日間) 1講座 受講者数 10人

オープンセミナー 1回 受講者数 198人

## デザインマート事業

販路開拓、商品リニューアルを検討している企業を対象に、大都市圏で活躍する商品開発プロデューサーやバイヤーを招いて、商品求評会を開催します。

企業の負担金 参加費用が必要となります。

平成21年度 実績

参加企業 20社

## デザイン研修事業

一般企業人、若手デザイナーを対象に、商品企画や製品デザイン開発に関する基礎研修を開催します。

企業の負担金 参加費用が必要となります。

平成21年度 実績

デザインの基礎コース(6日間) 1講座 受講者数 25人

お問い合わせ デザイン振興部 TEL: 0776-55-1756

## デザイン指導相談事業事例

事例⑮

### 山嘉商店株式会社

酒器「Tri Tura」のブラッシュアップと販路開拓支援

## 専門家派遣事業事例

事例⑬

### SFV生産農場

里芋アイスのパッケージデザインとブランディング支援

事例⑭

### 有限会社紙和匠

「舞妓カード」のパッケージデザイン計画

## 産業デザインプロデュース事業事例

事例⑭

### 有限会社紙和匠

「舞妓カード」のパッケージデザイン計画

事例⑮

### 山嘉商店株式会社

酒器「Tri Tura」のブラッシュアップと販路開拓支援

## デザインアカデミー事業事例

事例⑬

### SFV生産農場

里芋アイスのパッケージデザインとブランディング支援

## デザインマート事業事例

事例⑬

### SFV生産農場

越前漆器の伝統技術を活用した箸の商品開発と販路開拓

事例⑮

### 山嘉商店株式会社

酒器「Tri Tura」のブラッシュアップと販路開拓支援

## デザイン研修事業事例

事例⑭

### 有限会社紙和匠

「舞妓カード」のパッケージデザイン計画



# 里芋アイスのパッケージデザインと ブランディング支援

## SFV生産農場

代表者名 建石 正治

所在地 大野市

業種 食品加工製造業

事業内容 水稲、上庄里芋等の農産加工

## 経営課題(事業を活用した経緯等)

当社は、上庄里芋をベースに県内の特産品を用いた里芋アイスの開発を進めているが、消費者ニーズに応じた販売方法や、パッケージデザインの表現も含めたブランディング戦略が課題になっていた。

そこで、一貫したブランド統一のもと、福井県産品を活用した味のアイスを開発し、全国市場への展開を図り、さらに商品特性を活かしたヘルシー食品としての拡大を図る販路開拓に取り組んだ。



## 支援内容

『専門家派遣(デザイナー)事業』による支援を行ったほか、『デザインアカデミー事業』経営者コースでデザインマネジメントの手法を習得した。また、『デザインマート事業』への参加により、販路開拓に向けた支援を行った。さらにマスコミへの情報提供によるプロモーション支援を行った。

## 支援成果・現状

デザイナー等の指導を受けることで商品アピール性の優れたパッケージの作成と統一感の取れたブランド戦略により、デザイン性の高い商品群を開発することができた。また、「卵と牛乳を使っていない」をキャッチコピーに「上庄の里いも」を明確にした一貫したブランディングを進めたことで、有力百貨店や生協など、全国市場への販売につなげることができた。



## 代表者の方からの一言



代表 建石 正治 氏

今回、この事業を利用させていただいたことにより、商品づくりから販売プロモーションまで一貫したデザインマネジメントに取り組むことができ、魅力ある商品として生まれ変わることができました。

同時に、経営者として大きく成長できたことも大きな収穫で、今後は更なる販路拡大を上げるとともに、「アイスマージュ」ブランドの普及を目指し、更なる活動を続けてまいります。

# 「舞妓カード」の パッケージデザイン計画

## 有限会社 紙和匠

代表者名 石川 靖代  
所在地 越前市  
業種 製紙製造販売  
事業内容 和紙小物の製造販売業

### 経営課題(事業を活用した経緯等)

当社の「舞妓カード」は製品としては満足なものに仕上がったが、パッケージや売り場での販売促進ツールにまとまりがないため商品ブランディング効果が上がらず販売数が伸び悩んでいた。そのため、商品と販売促進の効率化を進めるPOPデザインも含めたブランディング戦略の見直しが課題になっていた。

そこで、消費者ニーズを的確に捉えたデザイン表現によるパッケージおよびPOPスタンド、チラシなどを有効に活用できるデザイン導入を取り入れることにより販路拡大に取り組んだ。

### 支援内容

『デザイン研修事業』に参加され、「舞妓カード」製品のブラッシュアップ支援を行った。

その後、『専門家派遣(デザイナー)事業』による支援によりパッケージデザイン計画の構築を行ったほか、『産業デザインプロデュース事業』グループカウンセリングで市場のユーザー評価を指導した。

こうした一連の開発プロセスにおいて各ポイントの支援を行うことにより、一貫したブランディングの確立に至ることができた。

### 代表者の方からの一言



代表取締役 石川 靖代 氏

今回、この事業を利用させていただいたことにより、一見して使い方と商品のいわれがわかる、女性の目を引く商品に仕立てることができました。また、ブランディング化への取り組みにより商品力が強化され、他の商品の営業活動においても大変反応が良くなりました。

今後とも、デザインマネジメント力を身につけて、魅力ある和紙商品開発に取り組みたいです。



### 支援成果・現状

デザイナー等の指導を受けることで今の時代にマッチした日本のイメージとモダンデザインの要素を取り入れた洗練されたパッケージを作ることができた。

また、出来上がったパッケージとPOP資料を事前に販促品として使用したことにより、有力文具店や百貨店など、全国市場への販売につなげることができた。

今後は、デザインを活かして、和紙製品の新品開発への多様なアイテム開発に取り組んでいく予定である。

# 酒器「Tri Tura」の ブラッシュアップと販路開拓支援

## 山嘉商店 株式会社

代表者名 山田 喜六  
所在地 越前市  
業種 樹脂成型加工業  
事業内容 業務用漆器製品の成型製造

### 経営課題(事業を活用した経緯等)

当社は中間加工の下請け体質からの脱却を目指し、保有する技術を活かしたビジネスモデルを構築してCADを活用した、新造形モデリングシステム手法を導入した取り組みに挑戦していた。

そこで、福井県工業技術センターの3Dモデリングシステム活用による製品ブラッシュアップを進めるとともに酒器「Tri Tura」ブランドを立ち上げ、デザイン性の高い商品を取り扱う専門店への絞り込みを行うことにより販路開拓に取り組んだ。



### 支援内容

『デザイン指導相談』において、モデリング製品のブラッシュアップ支援を行った。

また、『産業デザインプロデュース事業』グループカウンセリングで著名デザイナーより指導を受けるとともに市場のユーザー評価について指導した。その後、『デザインマート事業』による指導によりデザイン性の高い酒器の販売プロモーション先の検討を行った。

こうしたデザイン性の高い商品ならではの的確なマーケットに向けた戦略のアドバイスをを行うことにより、販路開拓が行えた。

### 支援成果・現状

今回のプロジェクトにおいて開発した商品は、「DESIGN TOKYO 2010」に選定され出展を果たした。また、近畿経済産業局主催の平成22年度「関西デザイン撰」の選定を受けることができた。さらに、銀座のジュエリーショップの販促品への採用、東京デザインセンターデザインショップ、銀座伊東屋にて販売が実現した。このような成果を踏まえ、全国のインテリアショップにも販路拡大を図っているところである。

今後は、中国に向けた販路拡大にも取り組んでいく予定である。

### 代表者の方からの一言



専務取締役 山田 博之 氏

今回のプロジェクトでは、3Dモデリングシステムを取り入れたことにより企画立案から商品完成までのスピードが速まったこと大変満足しており、今後の商品開発のビジネスモデルとしていきたい。

また、デザインマートにおいて、専門家からの確に背中を押していただけたのが自信となり、今回の成果に結びついたと考えています。

今後とも、ユーザーニーズに合致した迅速な商品開発を目指していきたいと思っております。



## 新事業支援部／地域産業支援部／総務部

〒910-0296 福井県坂井市丸岡町熊堂3-7-1-16 (ソフトパークふくい 福井県産業情報センタービル内)  
 TEL.0776-67-7400 (代表) FAX.0776-67-7429  
 E-mail info@fisc.jp URL http://www.fisc.jp/

### < 交通アクセス >

#### バス

##### 【福井方面からお越しの方】

- ・京福バス 大学病院線・新田塚線 (JR福井駅前 市内バス乗り場10番)
- ・京福バス 大学病院線・中 藤 線 (JR福井駅前 市内バス乗り場11番)
- ・京福バス 大学病院線 (JR福井駅前 市内バス乗り場11番)

##### 【丸岡方面からお越しの方】

- ・京福バス 本丸岡・松岡線 (本丸岡バス乗り場3番)

##### 【松岡方面からお越しの方】

- ・京福バス 本丸岡・松岡線 (松岡駅バス乗り場)

※いずれも「県立大学」下車 徒歩約5分 (所要時間 約20~50分)

#### 乗用車

- ・JR福井駅より約30分
- ・北陸自動車道「福井北I.C」より約10分
- ・北陸自動車道「丸岡I.C」より約20分



## 技術開発部／デザイン振興部

〒910-0102 福井県福井市川合鷺塚町61字北稻田10 (福井県工業技術センター内)  
 [技術開発部] TEL.0776-55-1555 FAX.0776-55-1554 E-mail fstr@fisc.jp  
 [デザイン振興部] TEL.0776-55-1756 FAX.0776-55-1759 E-mail dcf@fisc.jp

### < 交通アクセス >

#### 電車

- ・JR北陸本線 春江駅より徒歩約25分
- ・えちぜん鉄道 三国芦原線 鷺塚針原駅より徒歩約15分

#### バス

- ・京福バス 運転者教育センター線 (JR福井駅前 市内バス乗り場10番)  
 「つくし野団地」下車 徒歩約3分

#### 乗用車

- ・北陸自動車道「福井北I.C」より約25分

#### 飛行機

- ・小松空港から連絡バスでJR福井駅まで約70分 JR福井駅から路線バスをご利用下さい。



## 人材育成部

〒918-8135 福井県福井市下六条町16-15 (福井県中小企業産業大学校内)  
 TEL.0776-41-3775 FAX.0776-41-3729 E-mail manabi@fisc.jp

### < 交通アクセス >

#### バス

- ・京福バス 羽水高校線 (JR福井駅前 市内バス乗り場9番)
  - ・京福バス 西大味線 (JR福井駅前 市内バス乗り場9番)
- ※いずれも「県産業会館・厚生病院」下車 徒歩約1分

#### 乗用車

- ・JR福井駅より約15分
- ・北陸自動車道「福井I.C」より約20分

